

地 域 資 料

1	保健施設設置状況	100
2	学会・研究会における発表一覧.....	100
3	表彰関係一覧表	102
4	管内の統計	103
5	野田健康福祉センターだより.....	107

1 保健施設設置状況

(1) 保健センター（類似施設を含む）

市町村名	名称	所在地
野田市	野田市保健センター	野田市鶴奉 7-4
	野田市関宿保健センター	野田市東宝珠花 260-1

(2) 介護老人保健施設

名称	所在地	電話
福聚苑老人保健施設	野田市中戸 20	04 - 7196 - 1168
梅郷ナーシングセンター	野田市山崎 2785	04 - 7125 - 5111
野田ライフケアセンター	野田市野田 840	04 - 7123 - 6997
葵の園・野田	野田市中里 1389	04 - 7127 - 7171

(3) 訪問看護ステーション

名称	所在地	電話
さわやか訪問看護ステーション	野田市野田 840	04 - 7123 - 6997
野田南部訪問看護ステーションそよかぜ	野田市山崎 1737-2	04 - 7126 - 6862
野田病院訪問看護ステーションこすもす	野田市中里 1554-1	04 - 7128 - 1600
訪問看護ステーションゆい	野田市上花輪 1558-1	04 - 7192 - 6461

2 学会・研究会における発表一覧

発表演題	発表者		発表		
	職	氏名	年月日	場所	学会等の名称
野田地域感染症情報ネットワークの構築による感染症対策の推進	技師	中込 灯	平成25年 2月28日	千葉市文化センター	千葉県公衆衛生学会

野田地域感染症情報ネットワークの構築による感染症対策の推進

なかごみ あかり

中込 灯・菅野千里・岩本和子・栗村嘉明・安部文子・杉戸一寿（野田健康福祉センター）・古賀晴美・新玲子（松戸健康福祉センター）

【要旨】

感染症対策は地域全体で推進する必要があるため、当センターでは関係機関と情報共有を図るために『野田地域感染症情報ネットワーク』の構築に力を入れている。その取り組みの現状と今後の課題を検討する。

【目的】

平成22年10月から本ネットワークを立ち上げ、運用開始から2年が経過したため、これまでの活動の評価を行うとともに、今後の課題を検討する。

【方法】

I ネットワークの構築

① ネットワークシステムへの登録

医療機関に対しては、医師会理事会に出向いて説明を行い、御理解を求め、医師会報の発行に合わせて頻回に本事業の案内を行い、登録を募ることとした。

小中学校・保育所は、学校教育課・保育課に協力を依頼し、担当課を経由して情報提供する体制を作り、それ以外の施設には、FAX等で個々に案内し、研修会や会議等でも積極的に周知した。

さらに、情報の配信方法をメールだけでなく、一部FAX配信も受け付け、登録しやすい環境整備に努めた。

② 『野田地域感染症情報』の内容

情報量はA4用紙2枚程度で、より身近に必要とされる情報にするため、発生動向調査や感染症情報収集システムを基に、独自に管内の発生分布図やグラフを作成する等、工夫を凝らしている。

また、時節に応じて、医療機関向けに、より専門的な発生動向情報・病原体検出状況・国や県の通知等、診療や院内感染対策に有用な情報を掲載し、一般施設向けには、理解しやすい説明や用語の使用を心掛け、マニュアルやリーフレット紹介等の平常時の体制整備に役立つ情報や、感染症流行時の注意喚起等を掲載した。

③ 情報配信方法

月2回、電子メールで配信し、一部FAXを併用した。また住民向けとして、当センターのホームページに概要を掲載した。

II アンケート調査

当情報の活用状況を把握するために、平成24年9月現在の登録機関(111施設)を対象にアンケート調査を実施した。

【結果】

I ネットワークの構築の結果(図1)

現在、登録機関からの感染症対策に関する相談が運用開始前に比べ増えてきており、その対応結果は本ネットワークを通して地域にフィードバックしている。また、医療機関からも本ネットワークを利用した情報発信の要請を受けて、詳細な情報発信を行った。これらの取り組みは、保健所の感染症専門機関としての地位の確立にも繋がっている。

また、東日本大震災発生時には臨時版を発行し、本ネットワークを活用し健康危機管理情報の迅速な共有を図った。

II アンケート調査の結果(対象施設:111施設、回答施設:68施設、回答率61%)

回答施設において、本情報を“ほぼ毎回読んでいる”は53施設(78%)であった。また、本情報は“感染症対策に役立っている”と回答したのは61施設(90%)であり、本情報が有効に使われていることが分かった。

役立っている情報(重複回答あり)としては、管内や隣接地域の感染症発生情報、行政情報、管内の発生動向グラフ、広域の感染症情報の順に多かった。自施設での情報共有方法(重複回答あり)としては、回覧、会議・委員会等での共有、所内掲示、メール転送などがあり、様々な方法で情報を共有していた。さらに、本情報を基にして、利用者や患者に対して情報提供を行っている施設が11施設あった。また、今後も情報配信を継続してほしいという要望が寄せられた。

【考察】

登録機関は得られた情報を現場で共有して感染症対策に役立てており、本ネットワークによる情報発信は、地域の感染症対策を推進するための有用な手段と考えられる。

管内は埼玉県と茨城県の間境に位置し、県外からの人の往来が多いという特徴があるため、近県の動向も併せて掲載することで、地域の特徴に合ったより有用な情報提供が行われると考える。また、感染症担当が情報を配信することで、実際の事例や相談等から把握した地域の課題について、具体的な注意喚起や予防啓発に併せて健康教育を直接行うことができる。

今後の課題として、特に登録機関との双方向の情報共有は、健康危機発生時にも有用な情報伝達手段となりうるため、早急に検討が必要である。本ネットワークの登録機関を増やし、施設の特徴や地域に応じた配信情報の充実を図ることで、地域で信頼の得られる専門機関として迅速かつ正確な情報提供に努めることは、保健所の使命と考える。

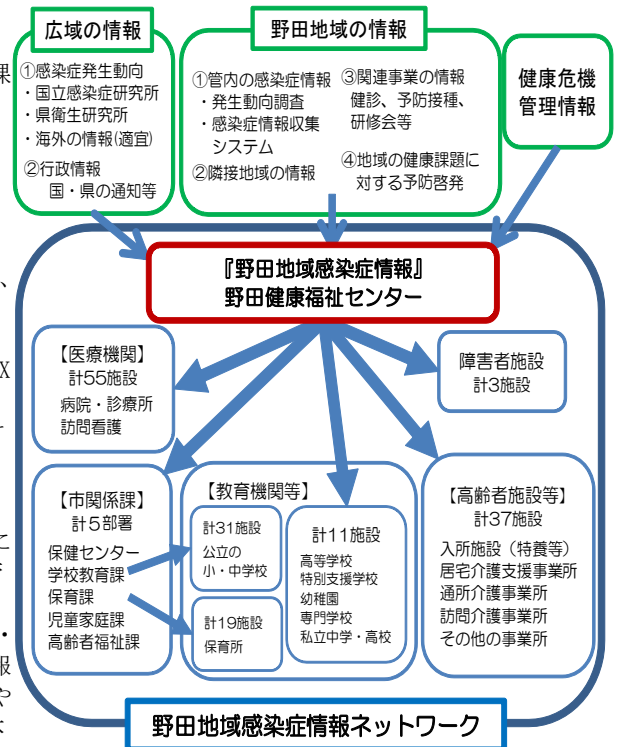


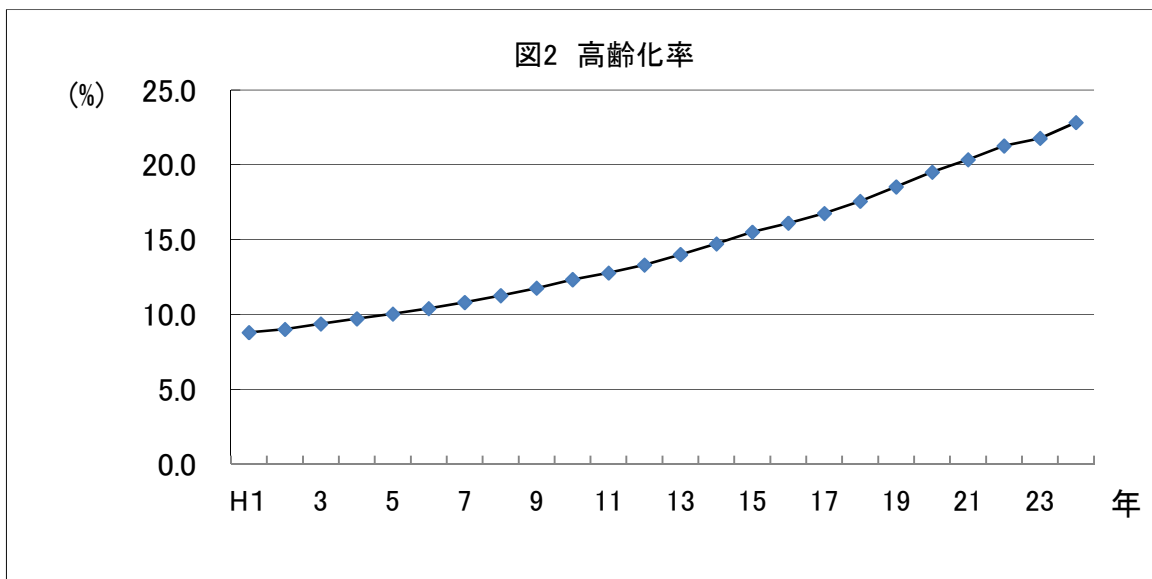
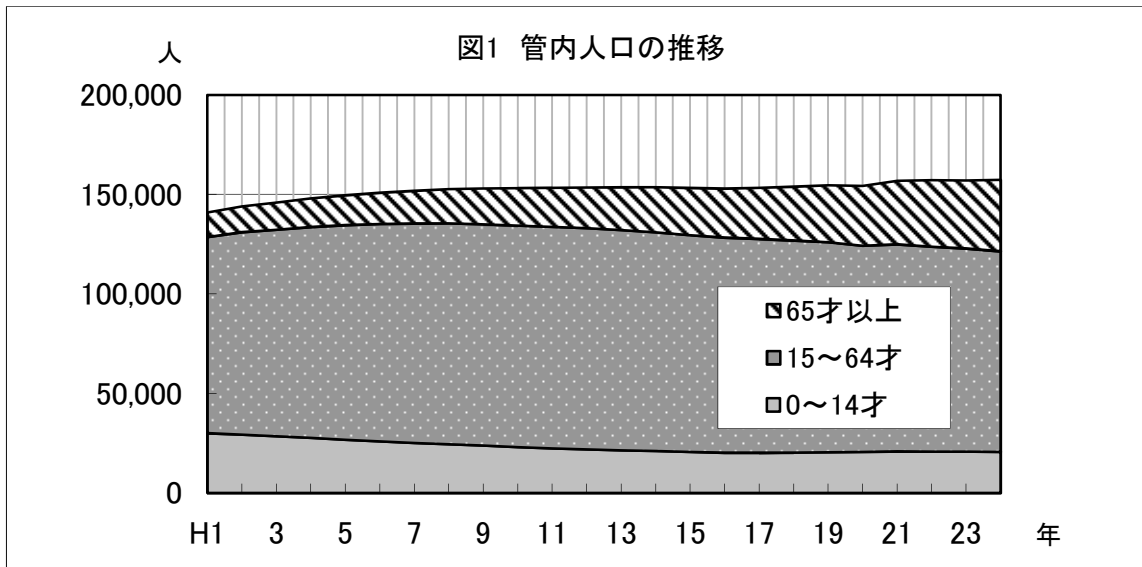
図1 野田地域感染症情報ネットワーク構築図 (H24年9月現在)

3 表彰関係一覧表

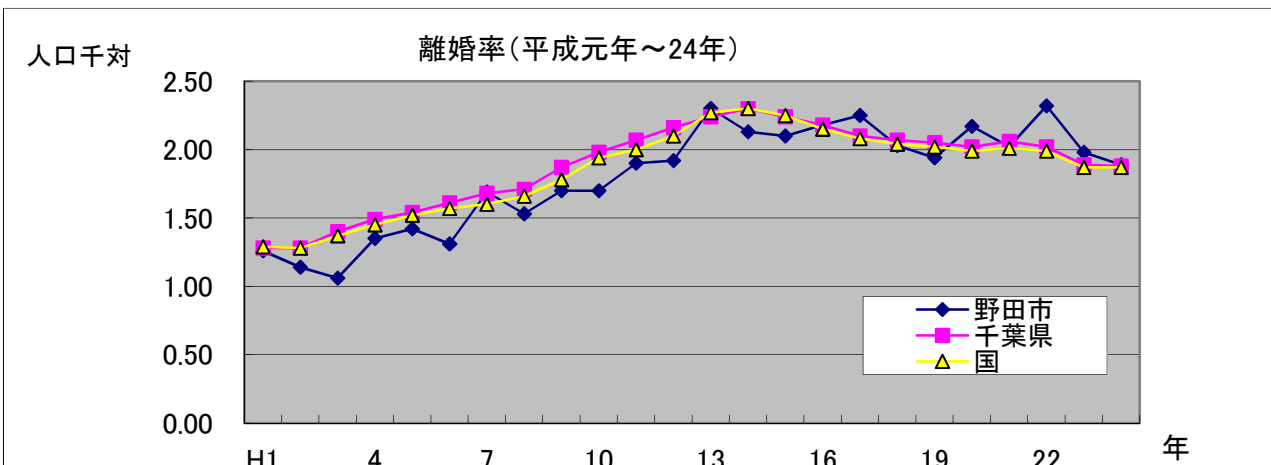
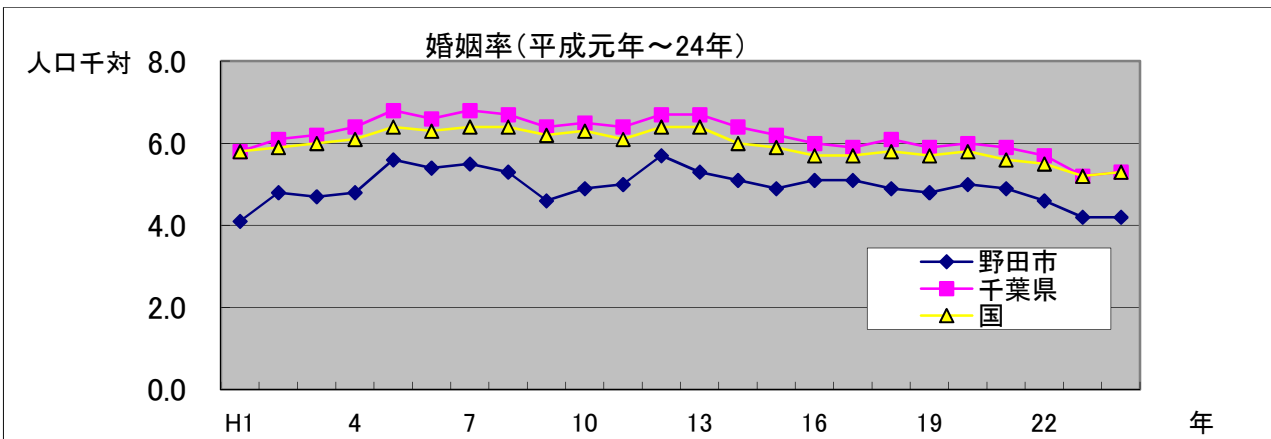
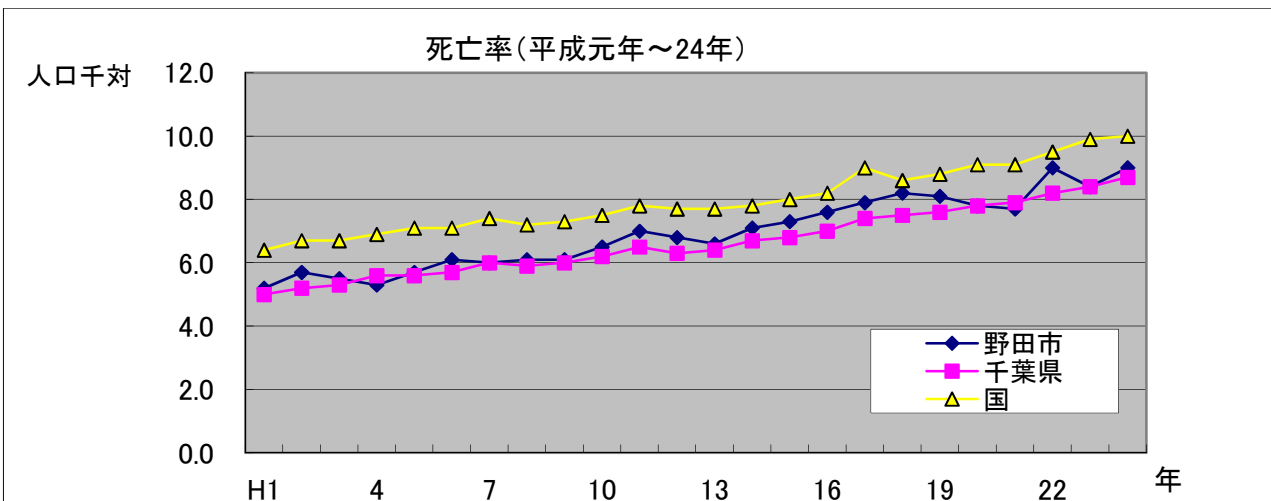
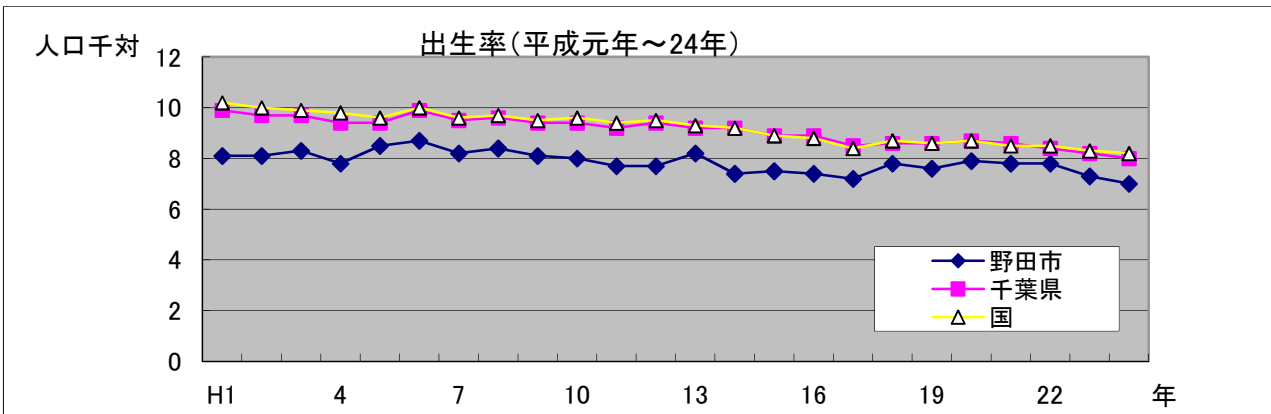
表彰区分	氏名・名称・業種等	表彰年月日	大会名等
千葉県知事表彰 (食品衛生功労) (食品衛生優良施設)	細井 正男 (飲食店営業)	平成24年11月 8日	平成 24 年度千葉県食品衛生大会
	敷島製パン 株式会社 利根工場 敷島製パン 株式会社 (菓子製造業)	平成24年11月 8日	平成 24 年度千葉県食品衛生大会
千葉県野田保健所長表彰 (食品衛生功労) (食品衛生優良施設)	大村 裕 (飲食店営業) 谷口 昇 (飲食店営業) 芝田 守 (飲食店営業)	平成24年5月25日	平成 24 年度野田保健所管内食品衛生大会
	有限会社 泉 亭 (飲食店営業： 有限会社 泉 亭)	平成24年5月25日	平成 24 年度野田保健所管内食品衛生大会
	カジェアルストロフ たまのや (飲食店営業：柳下 雅彦)	平成24年5月25日	平成 24 年度野田保健所管内食品衛生大会
	龍華苑 (飲食店営業：志津 博)	平成24年5月25日	平成 24 年度野田保健所管内食品衛生大会

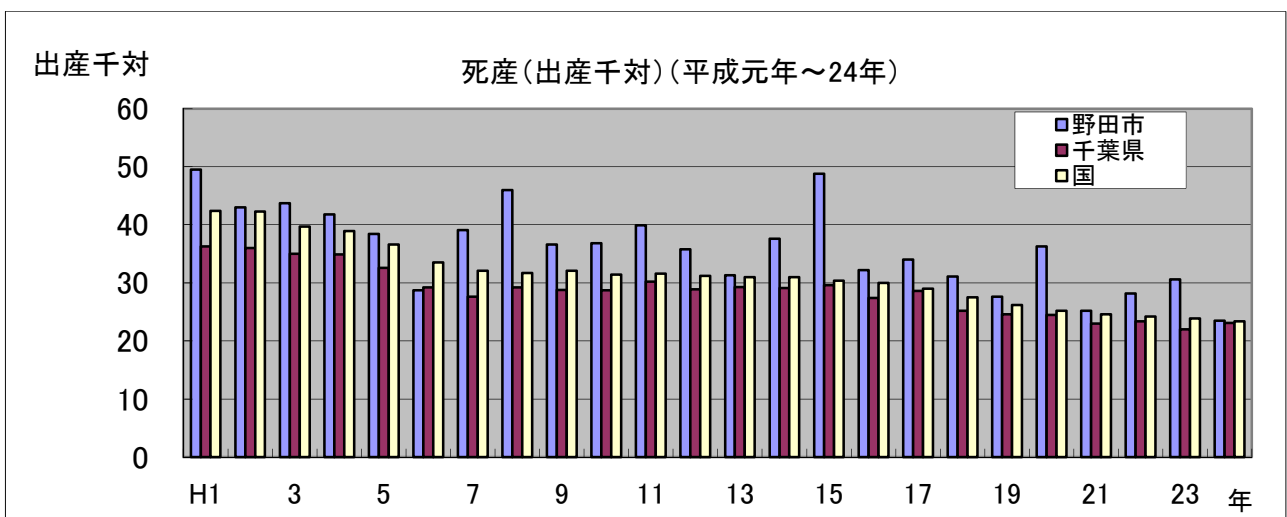
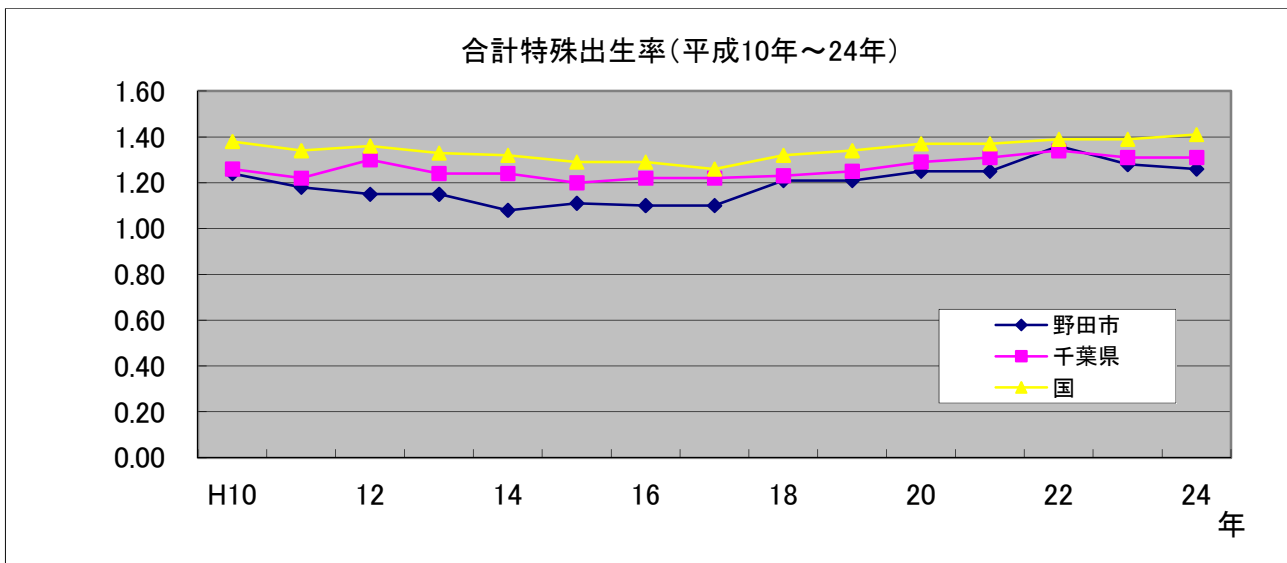
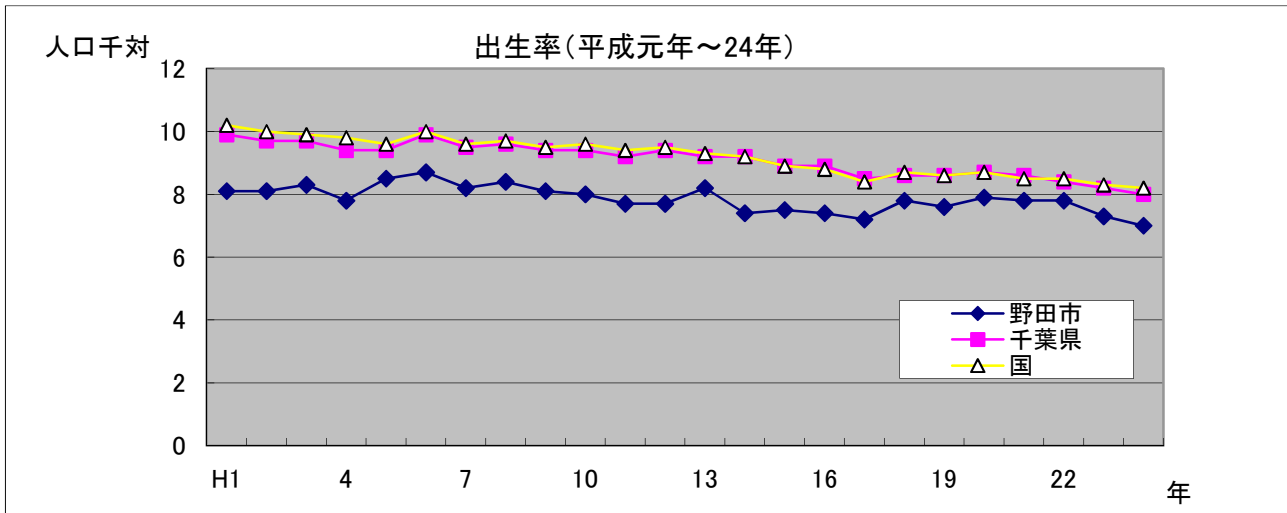
4 管内の統計

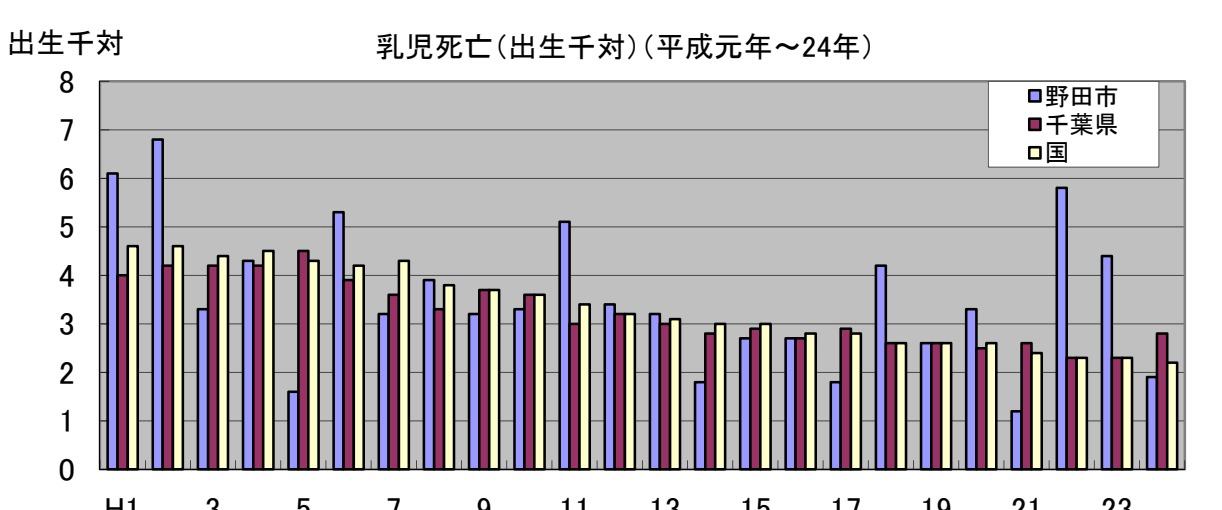
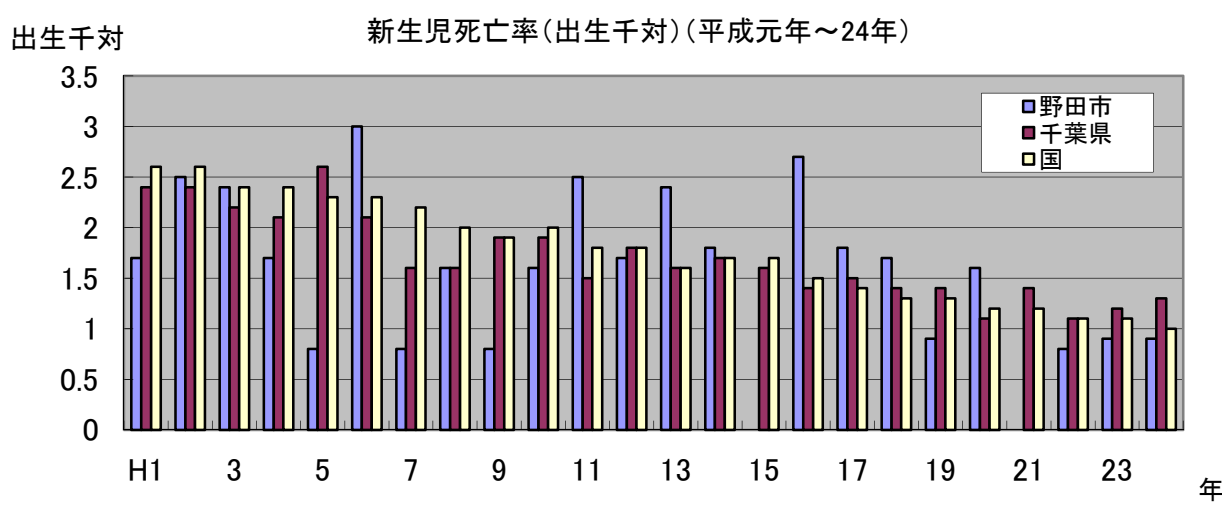
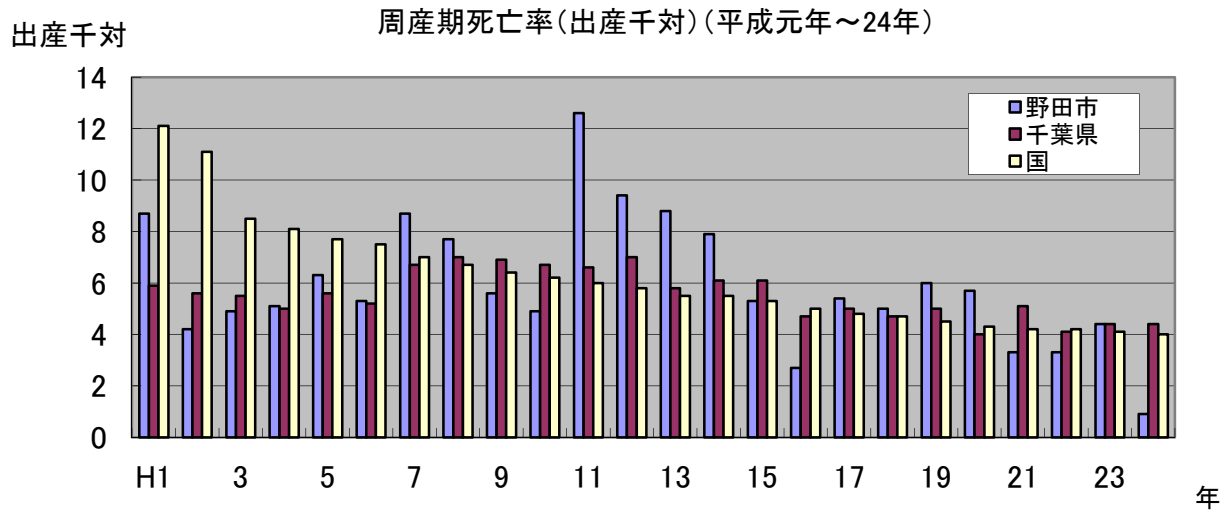
(1) 管内人口の推移と高齢化率（平成元年度～平成24年度）



(2) 人口動態の年次推移 (平成元年度～平成24年度)







5 野田健康福祉センターだより

次ページから掲載